



黒木俊秀先生 講演会

青年期以降に診断される 発達障害の特徴と対応

この度は、九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座教授の黒木俊秀先生をお招きしました。黒木先生は以前、国立病院機構肥前精神医療センターで、精神的二次障がいや発達障害のある人の治療・研究に尽力してこられ、九州大学では最先端の研究、高度の治療・教育をされておられます。

今回は、青年期以降に発達障がいと診断されたケースの対応について具体的にお話をさせていただきます。又、質問時間を長く設けましたので、皆様、この機会に是非ご参加下さい。

黒木先生からのメッセージ

近年、自閉症スペクトラム症（ASD）や注意欠如多動症（ADHD）の特徴や問題点が広く知られるようになり、その支援体制も徐々に整備されてきました。一方、子どもの頃はほとんど気づかれず、大人になって初めて ASD や ADHD と診断されるケースも増えています。抑うつや不安、ひきこもり等の問題から医療機関を受診する患者さんのなかにも、そういうケースが隠れています。今回は、そのようなケースの特徴と対応について（とくに精神科薬物療法の是非について）お話したいと思います。

講師 黒木俊秀先生 （プロフィールは裏面に記載）
九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座教授

日時 2017年11月4日(土)
受付 13:00 **開始** 13:30 **終了** 16:00

場所 福岡市市民福祉プラザ 1階 ふくふくホール
定員 248名
定員になり次第締め切らせていただきます

参加費 一般 1,000円(資料代含む)
当日受付にてお支払い下さい。

後援 福岡市 社会福祉法人福岡市社会福祉事業団
(福岡市立心身障がい福祉センター、福岡市発達障がい者支援センター、
福岡市障がい者就労支援センター)
福岡県自閉症協会 福岡市自閉症協会
福岡発達障がい者親の会「たけのこ」



当日のスケジュール

13:30～13:35 開会
13:35～14:55 講演
14:55～15:15 質問用紙回収
休憩
15:15～15:55 質疑応答
15:55～16:00 閉会

